

第297回郵政民営化委員会後 委員長記者会見録

日時：令和8年4月14日（火）17時05分～17時09分

方法：Web会議

○司会 ただいまから、郵政民営化委員会、山内委員長によります記者会見を行います。

オンライン形式の会見とさせていただきます。恐縮ですが、マイクのほうは基本的にミュートにさせていただき、御発言の際のみミュートを解除していただければと思います。御協力をよろしくお願いいたします。

会見の進め方ですが、冒頭、山内委員長から御発言をいただき、その後、質疑応答とさせていただきます。

それでは、委員長、よろしくお願いいたします。

○山内委員長 郵政民営化委員会委員長の山内でございます。よろしくお願いいたします。

本日の郵政民営化委員会の概要について、御説明を申し上げます。

なお、資料は、別途お配りしていると思います。

本日は、日本郵政株式会社及び日本郵便株式会社並びに総務省から、日本郵政株式会社及び日本郵便株式会社の令和8事業年度事業計画並びに総務省の要請項目についてヒアリングを行いました。

議事の内容については、配付資料を御覧いただければと思います。

令和8事業年度事業計画及び総務大臣の要請事項については、次のような御質問がございました。これは、これから中期の計画の中で幾つかのプラットフォームの形を取りながら事業を進めていくという日本郵政の御説明があったのですが、それに対して、特に総合物流プラットフォームというものを目指すと書いてあるのだけれども、御承知のとおり、プラットフォームというものは、プラットフォームに乗っかる人たちは相互に利益を及ぼすような、そういったものの意味なのです。この物流の場合、トナミあるいはロジスティードと日本郵便とは事業内容、経営体制がかなり異なっておりますので、この間でのシナジーの発揮というものは難しいのではないかと思います。これをどのようにお互いに利益を出していくのか。こんな質問があったところであります。

これに対して、日本郵政からの答えですが、トールを買収したときにそういう難しさは感じた。トナミやロジスティードについては、プロジェクトチームをつくって、お互いのシナジーが利く部分を話し合っ、それから計画に落とし込む作業を丁寧に行っているということでもあります。それで、今後も徹底的に議論し、プロジェクトを進めていきたい。こういうお答えがあったところであります。

以上が質疑の内容ということになります。

この議題1つでございましたので、内容については以上ということになりますけれども、次回委員会の開催については未定であります。

私からの御説明は以上ということになります。

○司会 委員長、ありがとうございました。

それでは、質問をお受けいたします。

御質問のある方は御発声または挙手ボタンでお知らせください。

よろしいでしょうか。

では、以上で会見を終了させていただきたいと思います。

山内委員長、御出席の皆様、どうもありがとうございました。

○山内委員長 どうもありがとうございました。

以上